



No.222

徳地町報

1974.4/5

発行者 德地町長

編集者 德地町企画室

印刷所 今澄印刷所

[新入学・新学期]

よい家庭教育を



小学校から大学まで、新しく入
学する子どもさんにとっては、人
生の一つの閑門に立ったわけです
新学期は、それから始まるスター
ラインです。もう走りはじめま
した。

まだ小さな幼稚園や小学校のお
子さんと、いまでと全くち
がつた環境にはいたせいか、緊
張しきつて一日を終え、家に帰る
と、出かけるときの元気さはどこ
へやら、もうぐったりして、ほん
やりあくびばかりしていることが
あります。

お母さんは、学校で何があった
のではないかと心配のあまり「ど
うしたの……」とせつからお子さ
んを聞いています。「なんでもな
いよ」と、お子さんは口をつぐん
でしゃべろうといません。なんで
もなければいいけれど、何かあ
った思い込み、お母さんはますま
す心配になりますが、学校はシ
ゴキの道場ではありません。お
子さんの体力に合わせて、勉強や

学校のたのしさをおぼえる
時間ぐらいは寝ねるわきあいを
してもらいいでしょ。
お母さんも、春は何かと家の事
が多いときですから、学校のことな
ど、後でお父さんは帰ってきて、
お夕食のときにもみんなで話し
合う程度にして、まずはお子さんの
緊張をほぐしてやってください。

体操をさせていますから、帰って
きたお子さんすぐ、今日なにが
あったのか、みんな報告させるよ
うに仕向けるのはなります。

